

仙台厚生病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。
通常の診療で得られた過去の診療情報や残存検体等を使用して行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開する事が必要とされています。また、研究結果を学会等で発表する事がありますが、個人を特定する情報は公開されません。

研究課題名	大腸癌既往がある患者の肺陰影における、 転移性肺腫瘍の術前予測因子の検索
当院の診療科・研究責任者	呼吸器外科 中橋 健太
他の研究機関	
本研究の目的	大腸癌治療ガイドライン2019年版では、大腸癌肺転移の治療方針は、「原発巣が制御可能で、肺転移巣が切除可能かつ耐術可能であれば肺切除を考慮する」としている。一方、大腸癌既往のある患者に原発性肺癌が生じるケースもあり、治療方針が異なるため鑑別を要する。本研究は、大腸癌既往がある患者の肺陰影において、転移性肺腫瘍を術前に予測する因子の検索を目的とした。
研究期間	2010年1月から2021年12月まで
研究の方法（対象となる方）	2010年1月から2020年3月までの期間に、外科的切除が施行された大腸癌の既往があり、肺陰影を認め当院で肺切除術を施行した症例
研究の方法（利用する情報）	採血データやCTなどの画像データ(匿名化された)
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除致します。 (利用する情報に個人を特定する情報は一切含まれておりません。) 研究結果を学会等で発表する可能性がございますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用致しません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	研究への利用を拒否する場合等の連絡先 【電話】 022-222-6181 【担当者】 呼吸器外科・医師 中橋 健太
備考	